

電子入札システム JRE8 動作保証開始のお知らせ

2015年6月15日より、**JRE8を新たに動作保証対象**といたします。

ご利用にあたっては以下の点にご注意ください。

【動作保証環境】

(1) OS・ブラウザのバージョン対応表（今回変更なし）

OS	Internet Explorerのバージョン（※1）（※3）				
	7	8 （※4）	9 （※4）	10 （※4）	11 （※4）
Windows8.1エディションなし、Pro（32bit版/64bit版）（※2）	×	×	×	×	○
Windows7 Professional/ Home Premium SP1（64bit版）	×	○	○	○	○
Windows7 Professional/ Home Premium SPなし、SP1（32bit版）	×	○	○	○	○
Windows Vista Business/ Home Premium SP1、SP2（32bit版）	○	○	○	×	×

（※1）Internet Explorer は全て 32bit 版をご利用ください。

（※2）Windows8.1の場合、デスクトップ版のInternet Explorerのみ対象となります。

（※3）全てのバージョンのInternet Explorerで信頼済みサイトの設定が必要となります。

（※4）Internet Explorer 8、9、10、11を利用する場合、互換表示設定が必要となります。

※Internet ExplorerのバージョンとJREのバージョンの組み合わせについては、下記（2）をご確認ください。

(2) Javaのバージョン対応表

以下枠線部分（JRE8）が新たに追加される動作保証環境となります。

※JRE6は動作保証対象外となります。ただちに本システムが利用不可になるわけではありませんが、提供元によるサポートが終了しておりますので、JRE6をご利用の場合は、お早めにJRE7またはJRE8への移行をご検討願います。

OS	ブラウザ	JRE6	JRE7 Update		JRE8 Update
			15	45	25 （※5）
Windows 8.1	Internet Explorer 11	×	○	○	○
Windows 7	Internet Explorer 11	×	○	○	○
	Internet Explorer 10	×	○	○	○
	Internet Explorer 9	×	○	○	○
	Internet Explorer 8	×	○	○	○
Windows Vista	Internet Explorer 9	×	○	○	○
	Internet Explorer 8	×	○	○	○
	Internet Explorer 7	×	○	○	×

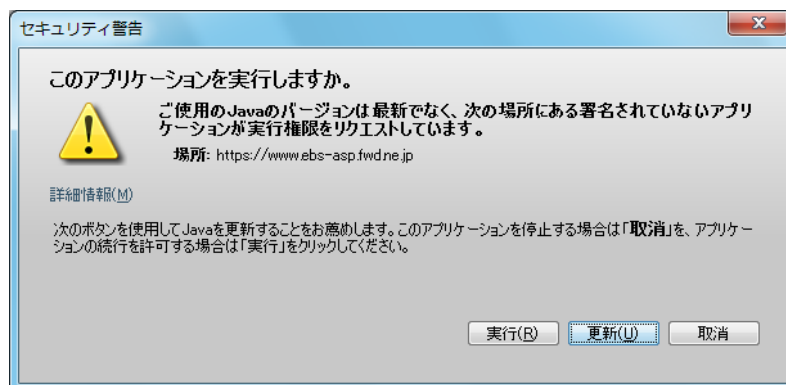
（※5）JRE8 Update25をご利用の場合は、次頁の「**JRE8 Update25をご利用になる際の注意事項について**」をご確認ください。

**※クライアントの対応状況は上記とは別に各認証局のソフトウェアに依存します。
詳しくはご利用の認証局へお問い合わせください。**

JRE8 Update25 をご利用になる際の注意事項について

JRE8 Update25 をご利用の場合、JRE のセキュリティ強化に伴い、電子入札システムログイン時に以下警告メッセージが表示され、ログインできない場合があります。

(警告メッセージ表示イメージ (1))



(警告メッセージ表示イメージ (2))



警告メッセージ表示イメージ (1) が表示された場合は、以下手順を参照してください。

⇒ 1. Java の警告メッセージ回避方法

警告メッセージ表示イメージ (2) が表示された場合は、以下手順を参照してください。

⇒ 2. 例外サイト・リストの追加方法

【1. Java の警告メッセージ回避方法】

電子入札システムログイン時にセキュリティに関する警告メッセージが表示された場合、以下の手順を行ってください。

- (1) 接続先①が電子入札システムであることを確認します。
https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp
- (2) 「実行」ボタン②をクリックします。

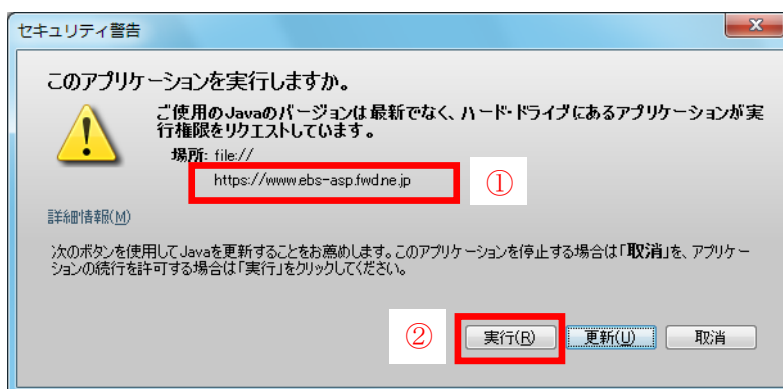


図 1-1 Java の警告メッセージ画面

【2. 例外サイト・リストの追加方法】

本手順は参考資料です。詳細の手順に関しては各認証局にご確認ください。

JRE8 を利用するには、コアシステムを利用するすべての PC において、Java コントロールパネル「例外サイト・リスト」に、ご利用頂く電子入札システムの URL（java ポリシー記載と同じ）及び電子入札専用クライアントソフトウェア（各認証局が提供）のプログラムファイル名を設定する必要があります。

ご参考として、以下に直接追加する手順を記載いたします。

- (1) コントロールパネルより「Java」のアイコンをクリックします。

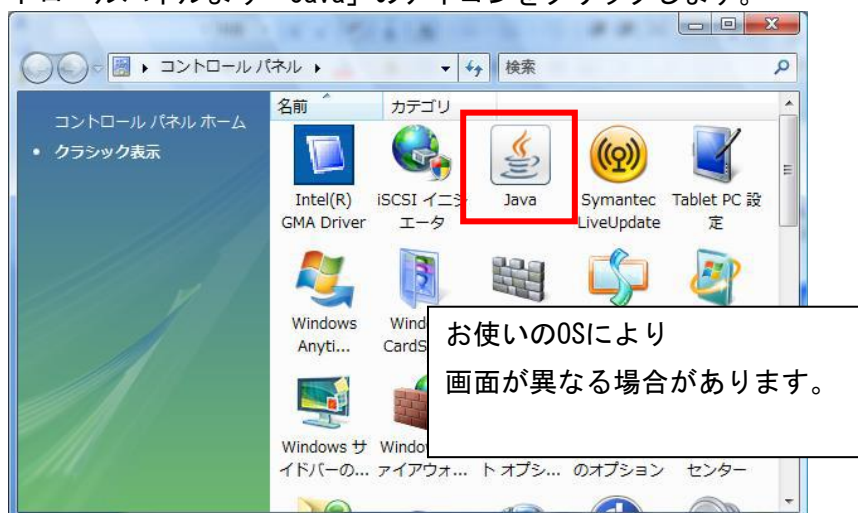


図 2-1 コントロールパネル画面

- (2) Java コントロールパネルが表示されます。
「セキュリティ」タブ①をクリックして、「サイト・リストの編集」ボタン②をクリックします。

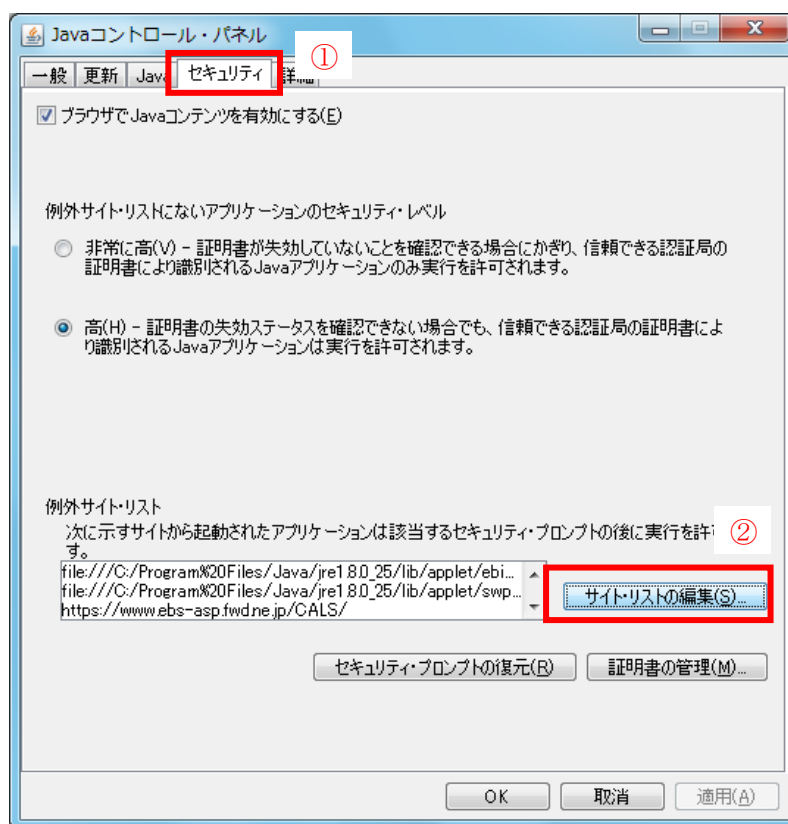


図 2-2 Java コントロール画面①

- (3) 「場所」欄①にご利用頂く電子入札システムの URL (java ポリシー記載と同じ) 及び電子入札専用クライアントソフトウェア (各認証局が提供) のプログラムファイル名を登録します。入力後「追加」ボタン②をクリックし、「OK」ボタン③で閉じます。

電子入札専用クライアントソフトウェアは以下フォルダ内のプログラム名を「置換条件」に従い変換してください。

フォルダ名 : C:\Program Files\Java\jre1.8.0_25\lib\applet

電子入札システムの URL : https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/CALS/

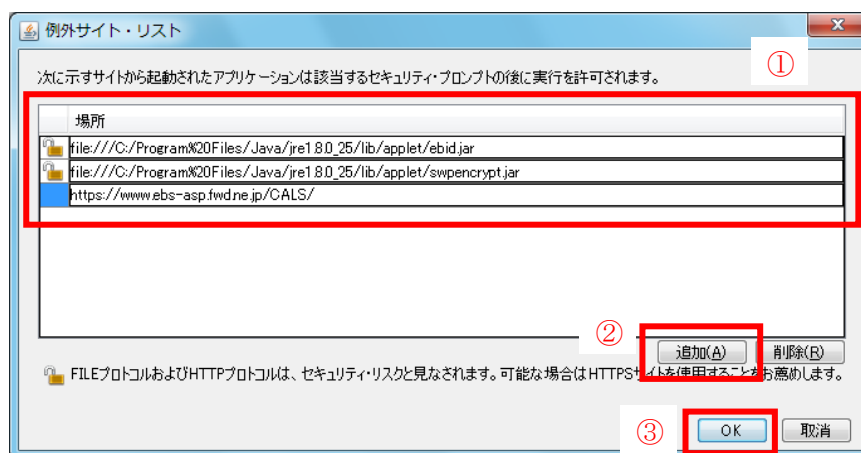


図 2-3 Java コントロール画面②

【置換条件】

- ・ 半角スペースがある場合は、「%20」に置き換える
- ・ 「¥」は「/」に置き換える
- ・ 先頭に「file:/」を付ける

【置換条件に従い置換した結果】

- ・ 64bit PC の場合

file:///C:/ Program%20Files%20(x86)/Java/jre1.8.0_25/lib/applet/ebid.jar

file:///C:/ Program%20Files%20(x86)/Java/jre1.8.0_25/lib/applet/swpencrypt.jar

- ・ 32bit PC の場合

file:///C:/Program%20Files/Java/jre1.8.0_25/lib/applet/ebid.jar

file:///C:/Program%20Files/Java/jre1.8.0_25/lib/applet/swpencrypt.jar

※注意※

JRE のインストール先を変更した場合は、フォルダ名が変わりますのでご注意ください。
また、具体的な設定手順については、各認証局にご確認ください。

以上